

「まちもり」アクションNEWS #11



第1期 (2019~2021年度) 取り組みが完了

2019年度より本格始動した「まちもり」アクションの第1期が今年度末で完了します。3年間の取り組みの成果として、① 41 全事業所に「まちもり」ポット*1の設置完了、②「まちもり」ポイント (MMP)*2 目標値達成、③ 各事業所での特色ある展開などが挙げられます (詳しくは「まちもり」アクションNEWS#10 参照)。

表彰! 5つの「まちもり」アクション賞

第1期取り組みにおいて、効果的なアクションを行った事業所を「まちもり」アクション賞として社内表彰しました。各賞の選定は、生物多様性保全にとって重要な要素である「持続」「発展」「協働」「地域」「創意工夫」の5つの観点で、取り組みを支援いただいている専門家に依頼しました。コロナ禍ではありますが、各事業所で特色のあるアクションを展開されており、高い評価をえられています。

受賞された皆様、おめでとうございます。各地区で工夫を凝らした取り組みを実施頂きました。旭化成グループは気候変動と共に、生物多様性保全についても大切に考えています。次期中期計画においても、ESGの観点でSDGsの達成に向けた取り組みを推進していきます。皆さんの継続的な参画をお願いします。

旭化成株式会社
代表取締役
副社長執行役員
高山 茂樹 さん



国産間伐材の表彰状

表彰状の素材には「森林とともに豊かに暮らしていきける未来をめざすプロジェクト kikito (キキト)」による間伐材を使用。「まちもり」アクションでは様々な視点から生物多様性保全、そしてSDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

旭化成 守山製造所

地域の希少生物を保全するビオトープ「もりピオ」での活動と関連させて「まちもり」ポットを活用したイベントをされています。また、社員研修では「まちもり」ポットを活用してSDGsの取り組みを説明し、工場増設に伴う緑化では独自に「まちもり」ポット5セットを設置するなど、「発展」的な取り組みが評価されました。



ステージ	取り組み内容 (概)
Stage 1 設置する	まちもりポットを設置 まちもりポットの説明を掲載
Stage 2 観察する	花や実、紅葉等を記録・撮影 まちもりポットに集った生物を記録・撮影
Stage 3 発信する	事業所内外に対して、動植物の観察記録や写真等を情報発信 (ホームページ・地域との交流)
Stage 4 発展する	他の場所への取り組み拡大 事業所内外のイベント等とのコラボレーション

「まちもり」アクションと「もりピオ」でのフォトコンテストのイベントをコラボレーション!

旭化成パックス 小野工場

毎年、季節ごとに開花や紅葉など植物の変化や訪れた昆虫をコンスタントに観察し、投稿されています。また、自然に発芽した在来種スミレも、あわせて観察・投稿するなど自主性が見られました。さらに、従業員が集まる食堂のすぐ脇に「まちもり」ポットを設置して窓から見えるようにするといった取り組みが、生物多様性保全にとって重要な「持続」的な活動として評価されました。



持続賞
Sustainability

旭化成住工 滋賀工場

何かと制約が多い事業所の中での取り組みですが、豊富なアイデアとネットワークの軽さにより、各ステージで様々な取り組みを実践されています。まさに「創意工夫」することで、幅広く生物多様性保全に貢献していることが評価されました。

独自の地域貢献活動「森と水のプロジェクト」とコラボして社内にPR。



秋祭りで地域の方に取り組みをPR
秋祭りや「湯屋のヘーベルビオトープ」で「まちもり」ポットを積極的に活用。

創意工夫賞
Creation

生物多様性

Biodiversity

発展賞
Growth

地域賞
Local

協働賞
Collaboration

旭化成 大分工場

2021年度特別企画「まちもり」植物ウォッチングでは、「まちもり」ポットでの観察にとどまらず、事業所全体や周辺地域の植物の生育状況についても投稿されています。「まちもり」ポットを中心に事業所、そして「地域」の緑にも目を向けられていることが評価されました。



旭化成 水島B地区・C地区

守衛所に共用のデジタルカメラを設置し、皆さんで観察記録をとりやすいように工夫されています。さらに、観察した生物について、生きものに詳しい従業員の方に名前を教えてください。担当者以外の人も積極的に巻き込んだ「協働」の姿勢が評価されました。

「まちもり」アクションNEWS #12

「まちもり」アクション賞 受賞事業所からのメッセージ



表彰状には、森林保全のための間伐作業で発生したブナ材を使用しました。

人と自然にやさしい緑地へ - 生物多様性、そしてSDGsへ -

第1期取り組みにおいて、生物多様性保全に関する効果的なアクションを行った5つの事業所を社内表彰しました。

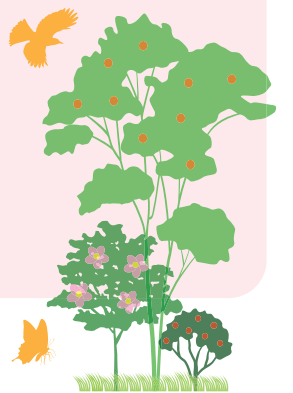
受賞された事業所では、生物多様性保全にとって重要な要素である「持続」「発展」「協働」「地域」「創意工夫」の5つの観点で、それぞれの特徴を活かした独自の取り組みを行っています。環境や動植物への配慮を通して、従業員の皆さんや地域とつながり、人と自然にやさしい緑地づくりにつながっていることが最も大きな成果といえます。

今後、事業所全体で取り組みを継続・発展していくことで、生物多様性の保全、ひいてはSDGsへの貢献にもつながるでしょう。

「まちもり」を活用した 緑化ガイドラインを作成中!

第1期の取り組みでは「まちもり」ポットを全国の事業所に導入して観察・投稿をしていただきました。第2期では、地域ごとにおすすめの植栽植物のリストや、地域産種苗を用いることの重要性とその方法をまとめた「まちもり」を活用した緑化ガイドライン（仮称）を作成しています。

今後、事業所での緑化工事の際には、グループ共通のガイドラインを参考に緑地づくりを行うことで、質の高い緑地づくりを目指します。



旭化成パックス 小野工場



持続賞
Sustainability

小野工場では、2019年6月に「まちもり」ポット*を設置しました。当初に枯れてしまった品種もあったが、無事生育するか心配が尽きませんでした。現在は順調に成長し、蝶が訪れたり、他の植物が自生するまでになりました。その変化を観察し続けた結果、このような賞をいただく事ができたと考えています。

今後も「まちもり」アクションを「持続」させ、人と自然に寄り添う職場環境作りに努めていきたいと思っております。(環境安全・品質保証グループ 中富 篤さん)

旭化成 守山製造所



発展賞
Growth

守山製造所では、水をテーマにした生物多様性保全活動として、ハリヨ（絶滅危惧種）、トンボ（滋賀県らしい昆虫）の保全に取り組んでいます。2020年に設置したもりピオ(ピオトープ)では、「まちもり」ポットがトンボの生息に欠かせない役割を果たしています。

この度、地域と連携して増設した「まちもり」ポットなどの取り組みが評価され発展賞を受賞することができました。今後も地域との共生を目指し従業員とともにまちもりアクションを推進したいと思います。(環境安全部 環境保全グループ 渡邊共則さん)

旭化成 水島B地区・C地区



協働賞
Collaboration

水島は2地区（B地区・C地区）に分かれており、「まちもり」ポットが2か所あります。離れた場所でも観察・撮影をして、木々の育成が保たれているのは「協働」という文字の通り、水島地区みなさんのご協力があったからこそ受賞だと思っております。

これからも、協働しながら「まちもり」ポットの木々と一緒に成長していきたいです。(環境安全部 環境グループ 植村めぐ美さん)

旭化成 大分工場



地域賞
Local

大分工場は、防衛火薬製造工場の為、工室間の保安間隔及び地域との保安距離を有する工場です。よって、広大な敷地に自然豊かな動植物がたくさん育成しているので「まちもり」植物ウォッチング企画では、大分工場の豊富な自然を社内に紹介したいという想いから、たくさんの写真を撮影・投稿しました。

植物の拡大写真を撮影するにあたり、焦点が合わなかったり、在来・外来種の確認に苦労しましたが、受賞出来て報われました。又、地域の植物を撮影して、投稿して頂いた従業員の方々に感謝します。(環境安全課 まちもり事務局 矢野郁雄さん)

旭化成住工 滋賀工場



創意工夫賞
Creation

コロナ過で落ち込んだ雰囲気を明るくするビッグニュースとして大変喜んでおります。

様々な活動に制約がある中ですが、この受賞を励みに更に創意工夫を凝らして、より一層「まちもり」アクションを盛り上げていきたいと考えておりますので、引き続きご指導をよろしくお願いいたします。(RC 管理部環境安全課 松宮秀典さん)